



焼却発電施設「レガリア」（2027年春稼働）

- 本社所在地：埼玉県深谷市折之口
- 事業概要：産業廃棄物中間処分業、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、深谷市一般廃棄物受託事業等
- 常時使用する従業員：107名（2025年8月時点）
- 現在の売上高：42.5億円（2025年2月期）
- 法人番号：9030001086382
- Web： <https://www.shitara-kousan-group.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長兼CEO
設楽 竜也

チャレンジ精神を忘れず、新たな時代のその先まで走り続ける！

我が社は「スピード感」、「上昇」、「躍動」をモットーとする廃棄物処理業の会社です。現状に満足することを良しとせず、大きな夢(目標)を掲げ、その現実に向けて日々社員一丸となって努力を続けています。商品の生産・販売といった華やかな業界・産業に比べると、商品がその使命・役割を終えた後の処分の工程を担う廃棄物処理業界は必要不可欠ではあるものの、地味でイメージも良いとは言えません。当社はそういった廃棄物処理業界のイメージ打破、この業界で働く人や当社で働く人のステータス向上のための努力を惜しみません。これからも業界の先頭に立って新しい施設を作り、新しい技術を取り入れ、革新を続けていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

新設する焼却発電施設の本格稼働開始(2027年)と、その後に取り組む予定の廃棄物選別施設の更新・再編により、2032年に売上高100億円を達成する

課題

- ・業容拡大に向けた人材の獲得および育成の強化
- ・拠点の増加、人員の増加に耐えられる設備の更新
- ・社内体制、内部統制の更なる充実

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新事業「焼却発電施設」の稼働開始
 - ・収集運搬会社様との協働取り組み実施
 - ・営業体制の強化・充実
 - ・既存施設の更新・再編による廃棄物の選別作業の高度化・効率化の実現
- 上記取り組みにより廃棄物の取扱量を増やし、目標を達成する

実施体制

- ・代表取締役社長兼CEOをトップに、直接部門を統括運営本部が、間接部門を統括管理本部がコントロールし、短期・中期の目標達成を目指す
- ・組織内・組織間（タテ・ヨコ）の連携を強化し、全社員が同じベクトルで事業活動を展開する